

## 【ご案内】

## 「家庭科の授業を語る会（第190回）」の開催

立春を過ぎ、暖かく感じる日も多くなりました。いかがお過ごしでしょうか。第190回の「語る会」では、家庭科教員を経験後に大学院生となった瀧元さんに話題提供をしていただきます。実は、瀧元さんとは、拙著『「わかったつもり」を問い直す家庭科での学び』を介して、旧Twitter上でつながりました。まさにSNSの時代ですね。

ゼミは異なりますが、同じ北大（教育学院）の後輩ということで、あの吹雪の中、通学していた頃を思い出しながら“家庭科における学び”について語り合いたいと楽しみにしています。北海道からの話題提供です。Zoomのみでの開催となりますが、お気軽にご参加下さい。

- 日時：2024年2月17日（定例の第3土曜日） 午後2時から午後4時（参加費：無料）
- 場所：下記のアドレスに接続下さい↓  
<https://miyazaki-u-ac-jp.zoom.us/j/83100456711?pwd=0E9EUUZ6Zkp4WFRLd2Z4a25CT3IDQT09>  
○ミーティングID: 831 0045 6711      ○パスコード: &8q.XLci
- 話題：一人ひとりの児童・生徒を尊重する家庭科授業の実現可能性
- 話題提供者：瀧元有理（北海道大学・教育学院）

## 「家庭科の授業を語る会（第189回）」（2024年1月20日）の報告

○話題：高校家庭科食生活の実践

○話題提供者：那須のぞみ（宮崎南高等学校）

第189回の語る会では、宮崎南高校の那須先生に、高校での食生活にかかわる授業実践について、指導案を基に話題提供いただきました。

対象は高校1年生で、10月から全19時間の計画で行われた授業でした。キーワードは、「ライフステージに応じた」であり、小・中の繋がりから考えるように授業を展開したそうです。「一貫性」の大切さを大学の講義で学んできましたが、食生活での一貫性の持たせ方について学びを深めることができました。

生徒の実態として、ジャムボードの操作に慣れていることから、今回の授業でもジャムボードを使用したとのこと。その活用の利点として、生徒の視野の広がりが授業前後で明確になったことが挙げられました。これまでロイロノートを中心としてICTの活用について学んできましたが、他にも様々なソフトを授業で活用できるということに気付きました。

授業はジグソー法で行われ、生徒はカルシウム、鉄、ナトリウム、ビタミンの4つのグループに分かれて調べ学習をしていました。調べる情報や発表の流れは、那須先生が指定したとのこと。これは過去の授業の流れに近い学習方法にすることで、段階を踏んで生徒が資料をまとめる力を身に付けられるように、というねらいがありました。授業の方法を多く学ぶことができ、児童生徒の実態に合わせた方法を実践していくことが大切なのだと考えました。お話をありがとうございました。（文責：徳永）

連絡先：家庭科の授業を語る会（事務局）

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美（大学院教育学研究科）：Tel/Fax 0985-58-7539（直通）

：メールアドレス [e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp)

大矢 英世（教育学部）：Tel/Fax 0985-58-7542（直通）

：メールアドレス [hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp)

- 「家庭科の授業を語る会」のホームページ：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>
- 旧Twitter：fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために <https://twitter.com/BOHOpr7qtF2EVwi>